

心豊かな伝統と文化の街づくりについて

問

合併によりいろいろな地域特性を持つ市となり、豊かさを実感でき、そして地域に誇りや愛情を持てる町にするためには、伝統文化を保護保存していくことも大事では。

一・佐礼谷の「往還道を辿って」の道案内の看板を
二・秦皇山の登山道及びアクセス道路の整備について

答

上田教育長

一・現時点で「往還道を辿って」で紹介されている文化遺産の案内看板の設置は、文化や地域振興の企画といった横断的な視点から検討が必要であると考えている。

しかし、今、市全体を対象

久保

栄 議員



観光ガイドブック・往還道を辿って

に地域に眠る文化遺産の掘り起こしを行っており、新たに文化財として指定を受けるものに対しては、説明板の設置を行いたい。

答

中山地域事務所長

二・大半が自家用車を利用しており、国道56号線から秦皇山山頂まで道路標識で案内しているのですが、支障はないと考えているが、市道小池秦皇山線は、やや道幅の狭い場所も見受けられ、順次整備し、利用者の利便を図りたい。

最近、徒歩での登山愛好者が増えているが、登山道は草刈等の管理、案内標識の整備ができていないため、今後、地元関係者の理解、協力を得

ながら登山道の管理をお願いするとともに、案内標識の設置を検討したい。

指定管理者制度について

問

管理条例が施行されて日も浅く、試行錯誤で不備な点も多いと思う。市民及び議会のチェック機能から言うと一歩後退するのでは。指定管理料金の基準を定めては。

町家、シーサイドふたみ、栗の里中山の管理委託料の根拠を。

答

中村市長

管理委託料は、公の施設の設置目的を達成する上で必要な管理コストを反映させ、かつ指定管理者の経営努力によるコスト削減の可能性、利用料金等の収入を総合的に勘案して、その額を決定すべきものとされているが、事業の目的、施設の規模、事業内容、運営体制等条件の違いがあり一律的な算定方法を適用することは公の施設の性質上なじまないものもあるのではない

かと考えている。

しかしながら、公の施設の設置目的を達成するためには、適正な管理が必要であり、管理委託料の算定には、原則的な考え方を整理しておく必要があると考えている。

答

産業経済課長

経営努力では削減が難しい経常的な管理費、光熱水費の基本料、公益施設、公衆トイレ等の管理費を積み上げたものである。

新伊予市の財政計画について

問

三位一体の改革により、補助金の削減、地方交付税の見直し等で財政事情は大変厳しいのではないかと思う。

一・公債費の元利償還はいつ頃がピークか又その財源は。
二・市債発行の際は、償還計画と同時に財源も市民に公表すべきではと思うが
三・財政健全化法の取組は。

答

総務部長

一・ピークは平成二十一年度に二十五億二千万円の予定である。

財源は、ほぼ全額が一般財源である。

二・政府資金から、起債は対象事業により、耐用年数の期限内で償還年数が定められている。一方、市中銀行からの借入れは、相互の協議により定めることができ、今までは慣例的に十年償還で行っている。

これらの借入時期は、ほとんどが出納整理期間の六月となるため、起債の時期の公表は難しいが、決算に合わせて作成する市の財政状況調査の中にこれに関する資料もあるので、今後公表を検討したい。

三・総合計画に他会計の繰出金も考慮した歳出計画としていっているので、総合計画策定期間中は黒字決算であり、連結実質赤字比率には該当なく推移すると想定している。

その他の質問事項

行政改革の進捗状況について